



# セチュラの風だより



2020年 9月号 最終号

## ついに最終号！ Gracias、ありがとう、ペルー！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

待機期間の 120 日をもってペルーへの再派遣を辞退したため、ボランティア活動は 8 月をもって終了になりました。よって今月でセチュラの風だよりも最終号になります。今まで約 1 年半ありがとうございました。毎月報告する事で、活動のメリハリが付き充実したボランティア活動になりました。今月号は、ボランティア活動について報告します。



豊かな自然、神秘の歴史、美味しい食べ物、温かい人々。ペルーは素敵な国でした。日常に変化が欲しい…生活にマンネリ気味なアナタ！ 一步日本を出てみると、新しいことの連続でワクワクしっぱなしになること間違いなし！ でも外国語が話せないし…と不安なアナタ。言葉は体で覚えるもの、私も現地ですてきな生活を通じてスペイン語を体得しました。

海外でボランティアをしてみたい、という人は JICA のボランティア事業について一度調べてみてください。あなたにぴったりの職種や国があり、沢山の出会いや経験を積む事が出来る事を保証します。日本には気付けない、小さな気づきや幸せが沢山ありますよ。



### ボランティア活動を終えて

私は協力隊に参加する際「どんな環境下でも 2 年間絶対にやりきる事」を目標にしていたため、まさかの結末に悔しさが残りました。しかし、参加した事で「どんな環境でも楽しむサバイバル力」を身につけました。これは今後の人生における大きな財産の一つとなったなと自負しています。今後、ペルーでの活動について多くの人に伝え、JICA のボランティアの次の担い手育成にも協力したいです。

末尾になりましたが、毎月読んでくださった皆様本当にありがとうございました。ペルーのセチュラでの活動を、少しでも疑似体験して貰えたら幸いです。現在ペルーは世界第 5 位、約 70 万人を超える新型コロナウイルスの感染者がいます。将来新型コロナウイルスが落ち着いたなら私はペルーに必ず旅行にいきます。セチュラで待っている家族、友人、生徒達と会って話す事、伝える事が沢山あるから。